





「あー、じゃあその場合ホムラちゃんの勝ちでいいよ」



「本当にそのルールでいいんですね？」

「男に二言はないよ。じゃあ、始めちゃうぜ？」



（私がイカなければ勝てる……？）

（なにか考えがあるのかもしれないけど、そのままなら負けるわけがないはず）



ボロ〜

「はい、問題あり、ま……せ……」



(これが…さっきまで私の中に入ってたおちんぼ…これを、口で…)

ムクムク

ムクムク

オムムム

ムクムク

「あ、そうかホムラちゃんがイカなきやいいから無理にフェラする必要もないのかー。
ミスったぜー。」

「……」

（……そうです。無理にしなくても、30分耐えれば、勝ち……。勝ち、だけど……）



(勝ちだけど、イカせても勝ちなら、)

ちゃんとフェラをして勝ったほうが、相手も言い訳出来なくなるし……)

「いえ、ちゃんと……勝負は受けます……」



「流石天の聖杯。勝負から逃げないなんて流石だねー」



「それとも、単に我慢出来なくなっただけ？」

「じゅっぽ、じゅぶ……違います……ちゅるる」

じゅるる

ちゅるる

じゅるる

（そう、この男の言う通り勝負から逃げないため。

別におちんぽがしゃぶりたいわけじゃない。イカせるため。だから……）

「ちゅ、じゅぶ、じゅぽ……ぶっ、ちゅるる」



ちゅるる

ちゅるる

ちゅるる

ちゅるる

ちゅるる

(ちゅんと、ご奉仕しないと……)

ちゅるる

「うお、本気出しすぎ。これでフェラ初めてとかありえないっしょ」

しゅぽっ

しゅるっ

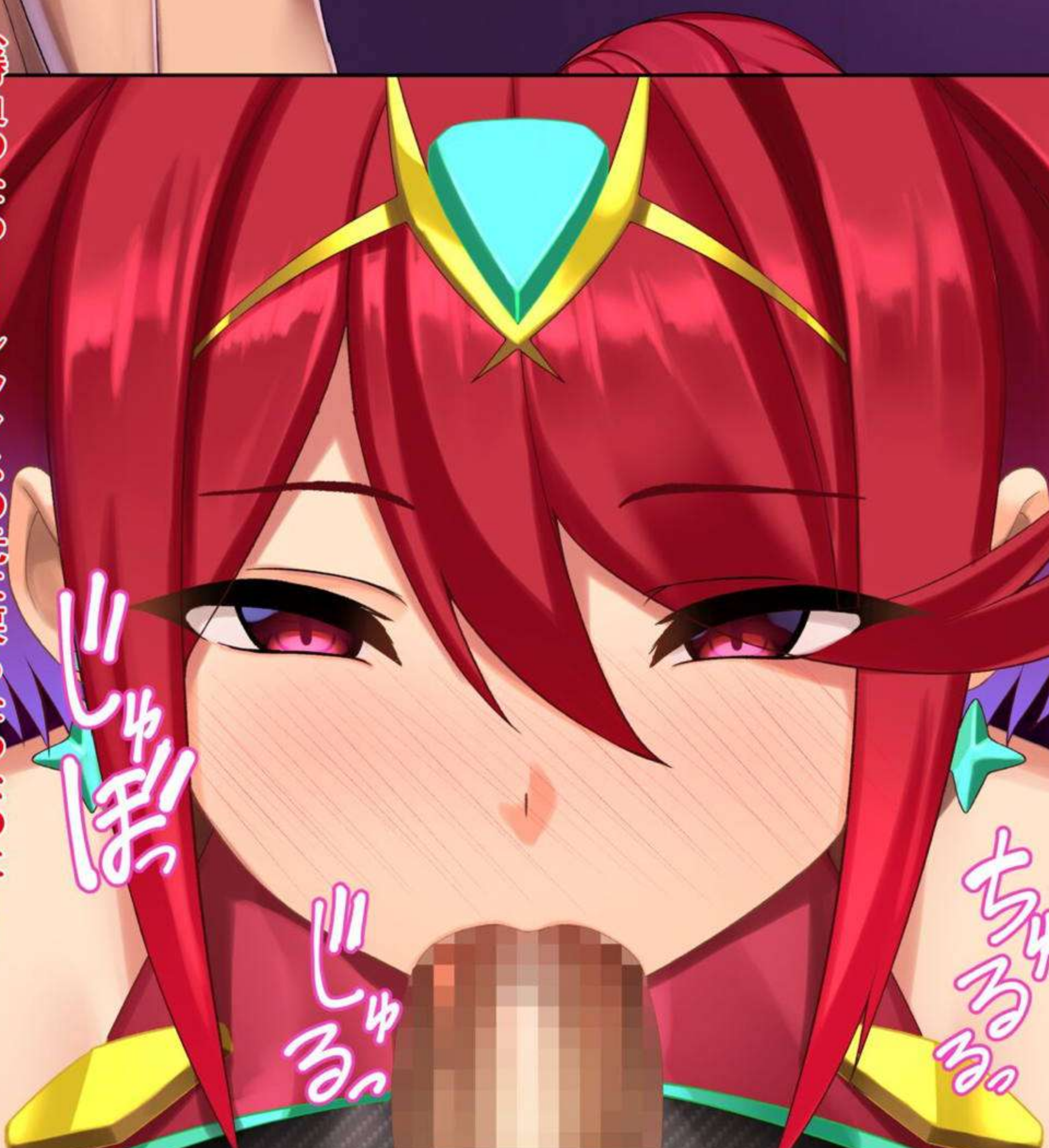
ちゅるるっ

（そっだ。私おちんぽ啜えた事なんてないのに。

初めてなのに、やり方がわかる。どこを舐めればいいのか、どうすれば男の人を喜ばせられるか……）



「かお、うおたは、かお、お……」



「ちゅるん」

「しゅるん」

「しゅぽん」

「勝負のため……レックスの元に戻るためなのに……」

「おちんぽいしゃぶるの、どんどん好きになる……♡」



「じゅぽ、ちゅる♡じゅぶぶ……ちゅぽ♡♡」



（舌に感じるおちんぽの形も、脈打つ熱も、
皮の裏についた汚いはずのチンカスも……全部全部、気が狂いそうなほどたまらない♡）

「そんな鼻息荒くして、「心不乱におしゃぶりに夢中になるとか、そこまで」「勝ちたいわけ?」



「そう、勝ちたい……!イカせたい、精液欲しい……!
しゃぶればしゃぶる程好きになっていくの♡
この臭いはずの異臭が鼻を通るたび、おまんこがキュンキュン切なくなるっ♡」

「うわ、オナニーまで始めちゃったよ。」

先にイったら負けなのに、頭馬鹿になってるんじゃないかねえの?」

(馬鹿……そう、私馬鹿になってるの。

このおちんぼが美味しすぎて、頭馬鹿になっちゃってるの。お

お口まんこが気持ちよすぎて、もう身体が言うこと聞かない。もっと強く、もっと深く……)



「まだ、.....♡ぽんぽん♡ぽんぽん♡ぽんぽん♡ぽんぽん♡ぽんぽん♡」



「うお、イラマやべえ。流石改造口まんこ。
苦しそうな顔しながら喜んでるなんて、完全にマゾの変態だな」

(ああ、凄い凄い凄いの喉まんこ抉られるたび、
おまんことおっぱい、体中がどうしようもなく感じちゃう♡
辛くて、苦しくて……病みつきになるっ♡)

ハッパ♡

ズン♡

じゅる♡



(恥ずかしい格好してるのも、下品なポーズも、罵倒されてるのも、意識すればするほど気持ちよくなる♡
この快樂に比べたら、他の事なんて全部些細な事だって感じるっ♡♡♡)

じゅる♡

ズン♡

ハッ♡



(溢れさせるなんて勿体ない。ザーメン、もっと飲みたい♡
ねばっこいマグマみたいな精液が、喉に絡みついて焼けそうっ♡♡)

カ
ク
ン
ン
ン
ン

カ
ク
ン
ン



「あーやべー気持ちよすぎ。ホムラちゃんほんと肉便器の才能ありすぎだわ。
出るの止まんねーわ」



（こんなに出したのに、まだこんなに反り立ってる♡
それに精液だって、溢れて……ああ、勿体ない……♡）

（それに、おちんぽに夢中で気づかなかったけど、まだ身体小刻みに甘イキしてる……私、フェラだけでイっちゃったんだ♡おちんぽ啜えただけで潮吹くような変態になっちゃってる……♡）

「勝負はー、どうするか。俺もイったけど、ホムラちゃんもイってるからな。いや、でもタッチの差って事でホムラちゃんの勝ちかな。いやー、惜しかったなー」





(まあ、ぶっちゃけ、勝敗なんてどうでもいいんだけどな。
身体は勿論、心も後ひと押し。もうちょっとで天の聖杯が手に入る。
楽しみだぜ)





ムクムク

ムクムク

ムクムク

ムクムク



ミゅわん

にゅわん

ちゅわん

Red stylized logo



ムクムク

ムクムク

ムクムク

ムクムク



アムウ

アムウ



(ちゅわんと、ご奉仕しないと……)





ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



オシロイ♡

オシロイ♡

オシロイ♡

オシロイ♡

オシロイ♡

オシロイ♡

オシロイ♡

オシロイ♡









